

1.研究課題名称

服薬情報提供書の返書を用いた有用性評価と質の向上に向けた取り組みの検討

2.研究の目的および意義

当院では、外部医療機関との医療連携ツールとして、2017 年より退院時に「薬剤管理サマリー」（当院では「服薬情報提供書」と称す）の運用を開始してきた。2019 年からは、服薬情報提供書の交付時に「返書」を同封することで、服薬情報提供書の活用をさらに推進してきた。2023 年からは、返書の記載形式を自由記載から一部チェックリスト形式へ変更し、記載の簡便化を図ることで、返書の回収率向上につなげている。

外部医療施設との連携においては、特に抗凝固薬やインスリン製剤などのハイリスク薬に関する医療過誤の防止が重要である。また、外来診療時の新規薬剤開始後、もしくは退院後も薬物治療を安全かつ継続的に行えるよう、情報共有と支援体制の構築が求められている。

本研究では、服薬情報提供書および返書の内容を精査し、服薬情報提供書に記載された事項が外部医療機関においてどのように評価・活用されているかを明らかにする。あわせて、今後の改善点を検討することで、より効果的な薬剤情報連携の推進を目指す。

3. 研究対象者の選定方針

対象期間 2025 年 1 月から 2025 年 3 月

対象患者 外来受診時または退院時において服薬情報提供書が作成され、外部医療機関から返書が返送された患者

4.研究予定期間

承認日から 2026 年 2 月 16 日まで